

南 種 子 町
橋 梁 個 別 施 設 計 画



平成26年3月
(第8回：令和4年10月更新)

鹿児島県 南種子町

【主な更新点】

- 計画策定（平成26年3月）

「長寿命化修繕計画策定費補助制度要綱」に基づき、管理橋梁51橋の点検結果による修繕計画を策定。
(概要版を町ホームページに公表)
- 第1回（平成30年2月）
(計画策定)

「南種子町橋梁個別施設計画」と名称変更。
同年2月に実施した定期点検の結果より、定期点検要領に基づいた施設毎の判定区分を見直し。あわせて修繕工事時期・概算対策費用等も見直し。計画の必須記載事項である6項目を記載。
(町ホームページに公表)
- 第2回（平成31年4月）

平成30年度防災・安全交付金事業にて、修繕設計・補修工事を実施したことにより、
(1)調査設計委託による対策内容を追記。あわせて、概算工事費にて対策費用を修正。
(2)平成30年度で補修工事が完了した橋梁を判定区分「I」にするとともに、対策費用を最終総事業費に更新。
- 第3回（令和2年4月）

令和元年度防災・安全交付金事業にて、修繕設計・補修工事を実施したことにより、
(1)調査設計委託による対策内容を追記。あわせて、概算工事費にて対策費用を修正。
(2)令和2年度で補修工事が完了した橋梁の対策費用を最終総事業費に更新。
(3)一部橋梁の判定区分を平成30年2月時点の判定に訂正。
- 第4回（令和2年5月）
(計画策定)

道路改良事業にて新橋を架設したことにより、新焼野橋(2019年9月架設)を追加し、管理橋梁を52橋に更新。また点検により健全度「I」に判定。
- 第5回（令和3年4月）

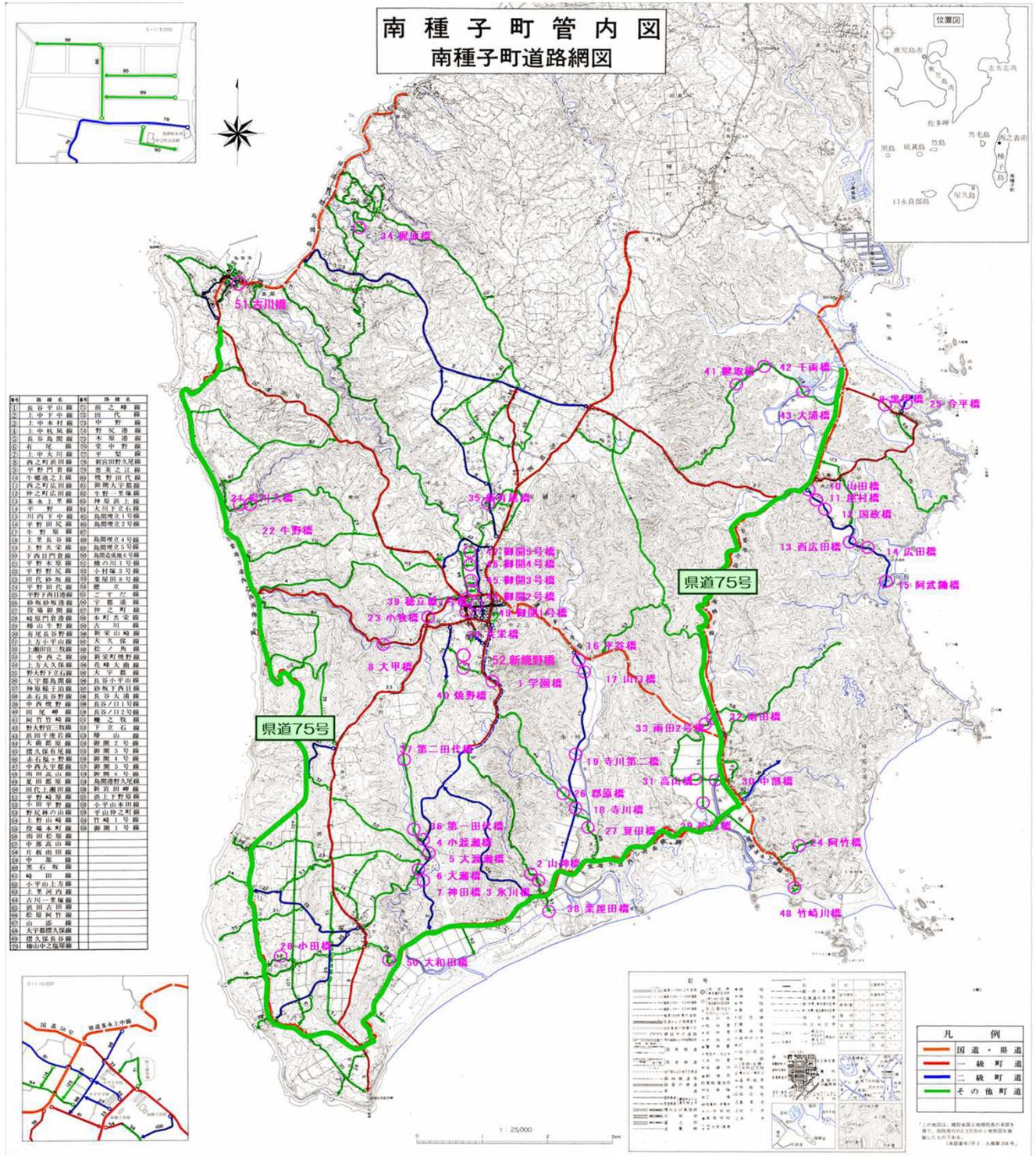
令和2年度道路メンテナンス事業にて補修工事を実施することにより、R2完了する橋梁の対策費用を最終事業費に更新。
(ただし3月末時点では、繰越事業のため工事は未完。(大浦橋・寺川橋・中部橋))
- 第6回（令和4年1月）
(計画策定)

「7.今後の取組、(1)新技術の活用(2)費用の縮減」を追記。
- 第7回（令和4年3月）

「8.南種子町橋梁長寿命化修繕計画一覧表」内の年度実施予定を修正。
- 第8回（令和4年10月）

「7.今後の取組、(1)新技術の活用(2)費用の縮減」を見直し。

1. 対象橋梁位置図



2. 橋梁リスト

NO.	橋梁名	道路種別	路線名	橋長(m)	径間数	幅員(m)	架設年次	供用年数	橋種	構造形式
1	学園橋	1級	上中下中線	70	2	12.8	2002	15	PC橋	ポステンT桁橋
2	山神橋	その他	上中下中線	7.6	1	5.2	1968	49	RC橋	床版橋(その他)
3	氷川橋	その他	上中下中線	6	1	6.4	1957	60	RC橋	床版橋(その他)
4	小渡瀬橋	2級	上中本村線	3.8	1	6.2	1982	35	Box	その他(RC橋)
5	大渡瀬橋	2級	上中本村線	13.7	1	8.7	2006	11	PC橋	プレテン中空床版橋
6	大瀬橋	2級	上中本村線	5.2	1	5.5	1975	42	RC橋	床版橋(その他)
7	神田橋	2級	上中本村線	13.1	1	8.2	2011	6	PC橋	プレテン中空床版橋
8	大甲橋	1級	上中大川線	11.7	1	8.6	1983	34	PC橋	プレテン床版橋
9	黒甲橋	1級	西之町浜田線	10.5	1	8	1979	38	PC橋	プレテン床版橋
10	山田橋	2級	西之町広田線	18.6	1	7.7	1982	35	PC橋	プレテンT桁橋
11	屋村橋	2級	西之町広田線	5	1	17.7	1981	36	Box	その他(RC橋)
12	国政橋	2級	西之町広田線	3	1	10.3	1981	36	Box	その他(RC橋)
13	西広田橋	2級	西之町広田線	5.1	1	10.3	1981	36	RC橋	床版橋(その他)
14	広田橋	2級	西之町広田線	14.6	1	7.7	1982	35	PC橋	プレテンT桁橋
15	阿武鋤橋	2級	西之町広田線	26.1	1	8.2	1984	33	PC橋	ポステンT桁橋
16	平谷橋	2級	川内下中線	6.3	1	7.6	1981	36	PC橋	プレテン床版橋
17	山口橋	2級	川内下中線	5.7	1	7.2	1980	37	RC橋	床版橋(その他)
18	寺川橋	2級	川内下中線	10	1	6.9	1977	40	鋼橋	鋼桁橋(その他)
19	寺川第二橋	2級	川内下中線	4.3	1	6	1977	40	RC橋	床版橋(その他)
20	共栄橋	1級	上野共栄線	3.9	1	13	1977	40	Box	その他(RC橋)
21	岩川大橋	その他	椿山牛野線	60	2	7.7	1996	21	PC橋	ポステンT桁橋
22	牛野橋	その他	椿山牛野線	7.4	1	5	1954	63	RC橋	桁橋(その他)
23	小牧橋	1級	中西焼野線	8.8	1	11.3	1988	29	PC橋	プレテン中空床版橋
24	阿竹橋	その他	阿竹竹崎線	2	1	3	2011	6	Box	その他(RC橋)
25	今平橋	2級	浜田千座岩線	7.8	1	7	1986	31	Box	その他(RC橋)
26	郡原橋	その他	大曲郡原線	7	1	7	1965	52	Box	その他(RC橋)
27	夏田橋	その他	夏田郡原線	46.2	3	4.7	1972	45	鋼橋	鋼桁橋(その他)
28	小田橋	その他	小田平野線	3.6	1	14	1965	52	RC橋	床版橋(その他)
29	松原橋	その他	雨田松原線	11	1	7.2	1974	43	PC橋	プレテン床版橋
30	中部橋	その他	中部高山線	28.2	1	6.7	1993	24	PC橋	ポステンT桁橋
31	高山橋	その他	中部高山線	6.9	1	6.1	1970	47	Box	その他(RC橋)
32	雨田橋	その他	片板雨田線	19.1	1	5	1978	39	PC橋	プレテンT桁橋
33	雨田2号橋	その他	片板雨田線	2.9	1	5	1970	47	RC橋	床版橋(その他)
34	梶原橋	その他	小平山上方線	12	1	8.5	1992	25	PC橋	プレテン中空床版橋
35	新有尾橋	2級	大宇都摺久保線	12.6	1	7.7	1976	41	PC橋	プレテン中空床版橋
36	第一田代橋	その他	焼野田代線	5.2	1	4.8	1965	52	RC橋	床版橋(その他)
37	第二田代橋	その他	焼野田代線	5	1	4.9	1965	52	RC橋	床版橋(その他)
38	栗屋田橋	その他	栗屋田8号線	5.1	1	4.4	1970	47	RC橋	床版橋(その他)
39	穂立線1号橋	その他	穂立線	4.9	1	6.4	1977	40	Box	その他(RC橋)
40	焼野橋	その他	新栄町焼野線	11.5	1	6.2	1975	42	PC橋	プレテン中空床版橋
41	鍵取橋	その他	長谷大浦線	5.5	1	7.3	1975	42	RC橋	床版橋(その他)
42	千両橋	その他	長谷大浦線	7.6	1	7.4	1980	37	PC橋	プレテン中空床版橋
43	大浦橋	その他	長谷大浦線	26.5	1	6.7	1982	35	PC橋	ポステンT桁橋
44	御開2号橋	その他	御開2号線	3.6	1	4	1980	37	RC橋	床版橋(その他)
45	御開3号橋	その他	御開3号線	2.7	1	12.5	1980	37	Box	その他(RC橋)
46	御開4号橋	その他	御開4号線	2.8	1	4	1980	37	RC橋	床版橋(その他)
47	御開5号橋	その他	御開5号線	2.8	1	4	1980	37	RC橋	床版橋(その他)
48	竹崎川橋	その他	竹崎1号線	4.5	1	9.5	1980	37	Box	その他(RC橋)
49	御開1号橋	その他	御開1号線	4.4	1	4	1980	37	RC橋	床版橋(その他)
50	大和田橋	その他	大和田線	3.7	1	6.5	1980	37	RC橋	床版橋(その他)
51	古川橋	その他	古川宮田線	7.8	1	6	2012	5	PC橋	プレテン中空床版橋
52	新焼野橋	その他	新栄町焼野線	10.6	1	9.75	2019	1	PC橋	プレテン床版橋

3. 現状と課題

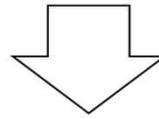
1) 背景

本町が管理する橋梁は、平成29年度現在で51橋架設されており、特に高度経済成長期以降（1970年代以降）に建設されたものが大半である。

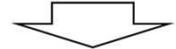
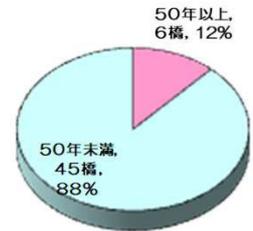
このうち、建設後50年を経過する橋梁は、全体の12%を占めており、20年後の平成48年には、86%の橋梁が建設後50年を超えることとなる。

このような状況から、今後橋梁の高齢化に伴い、補修が必要な橋梁や更新時期を迎える橋梁が増加し、それに伴い補修・更新費用等の維持管理コストは増加すると考えられる。近い将来には、維持管理コストの増大と道路事業費の予算減少により、適切な維持管理が困難となり、道路利用者への安全が確保できなくなることが懸念される。

平成28年度
6橋
(12%)



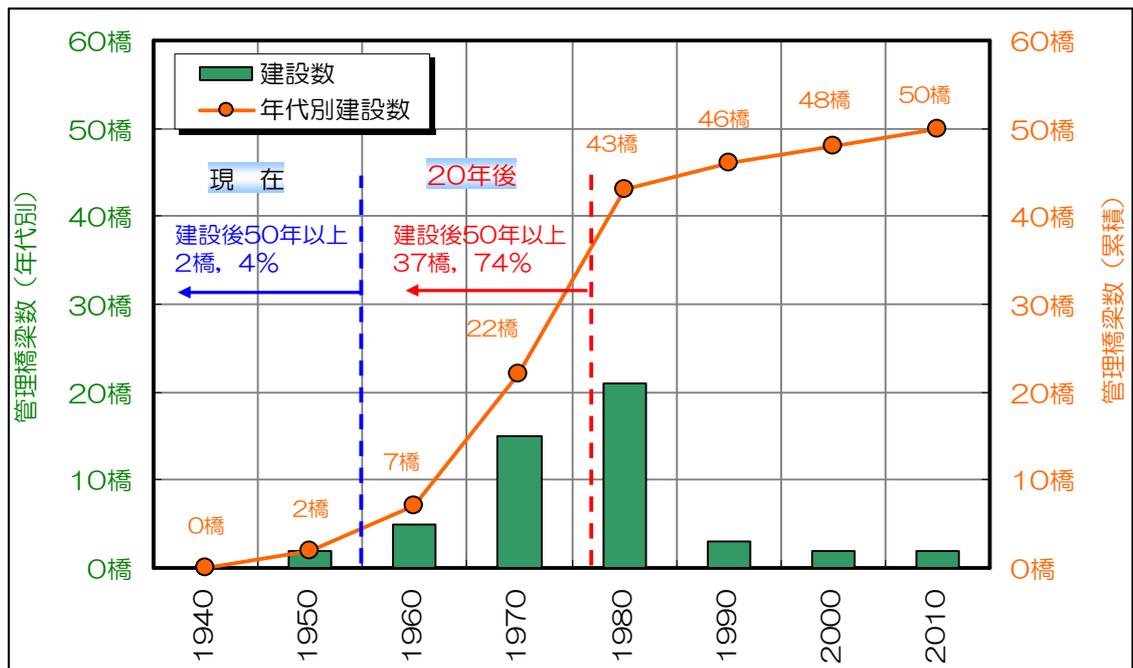
平成48年度
44橋
(86%)



2) 目的

このような背景から、より計画的な橋梁の維持管理を行い、限られた財源の中で効率的に橋梁を維持していくための取り組みが不可欠となる。

そこで、これまでの対症的な維持管理から「予防保全型維持管理」への転換を図ることで、道路ネットワークの安全性・信頼性を確保するとともに、効率的かつ効果的な維持管理の実現によるコスト縮減を目的とし、橋梁長寿命化修繕計画を策定する。



(平成26年3月現在)

4. 点検計画及び修繕時期の設定

基本方針は、ライフサイクルコストが最小となる、

予防保全的な修繕

計画初期は損傷が生じている部材が多数あるため、これらの修繕は、予防保全とにならない。
そこで、計画初期段階とそれ以降の時期を考慮し修繕計画シナリオを設定した。

<計画初期>
・対症療法型

今ある損傷に対し、損傷が大きいものから優先して修繕する。

<左記以降の時期>
・予防保全型タイプⅠ
・予防保全型タイプⅡ

・橋梁構造、規模を考慮。
・単年度に係る修繕費用の低減のため、早期の段階で修繕を計画する。

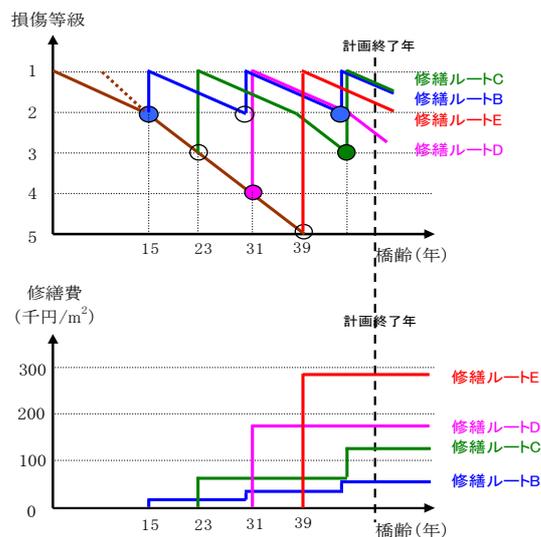


図 損傷等級の変化とライフサイクルコストのイメージ

1) 健全度の把握の基本的な方針

定期点検や日常的な維持管理によって得られた結果に基づき、橋梁の損傷を早期に発見するとともに健全度を把握する。

2) 日常的な維持管理に関する基本的な方針

従来の日常パトロールを中心とした管理により、異常や修繕必要箇所を早期発見に努めるとともに、小規模な修繕や清掃を適時行う。

- ・ 定期点検は、橋梁健全度を考慮し、5年以内に1回の頻度で実施することを基本とする。
- ・ 補修は、実施可能な範囲においてライフサイクルコストが最小となるタイミングで行う。
- ・ 補修は、予防保全的補修を基本とする。
- ・ 橋梁の更新については、建設から100年経過した時点で供用継続または架替えの検討を行う。

5. 対策優先度の設定

平成25年度に策定した修繕計画を基にして、平成29年度の定期点検結果による見直しを行った。

補修時期が単年度に集中する場合は、補修予算の確保など補修の実現が困難となることから、橋梁毎に対策優先度を設定し、補修時期の調整を行う。なお、耐震性については別途考慮し、本件では考慮しないものとする。

●優先度指数： $(X_n / 100) \times Y_n$

X_n ：橋梁重要度指数（橋梁の重要度に応じた点数）

Y_n ：橋梁損傷度評価値（橋梁の損傷度に応じた点数）

○橋梁重要指数： $X_n = \beta_1 \cdot x_1 + \beta_2 \cdot x_2 + \beta_3 \cdot x_3 + \beta_4 \cdot x_4 + \beta_5 \cdot x_5$

$\beta_1, \beta_2, \beta_3, \beta_4$ ：重み係数

x_1 ：路線重要度評価点， x_2 ：第三者影響度（交差状況）評価点

x_3 ：迂回路の有無の評価点， x_4 ：周辺環境の評価点， x_5 ：交通量

○橋梁損傷度評価値： $Y_n = r_1 \cdot y_1 + r_2 \cdot y_2 + r_3 \cdot y_3$

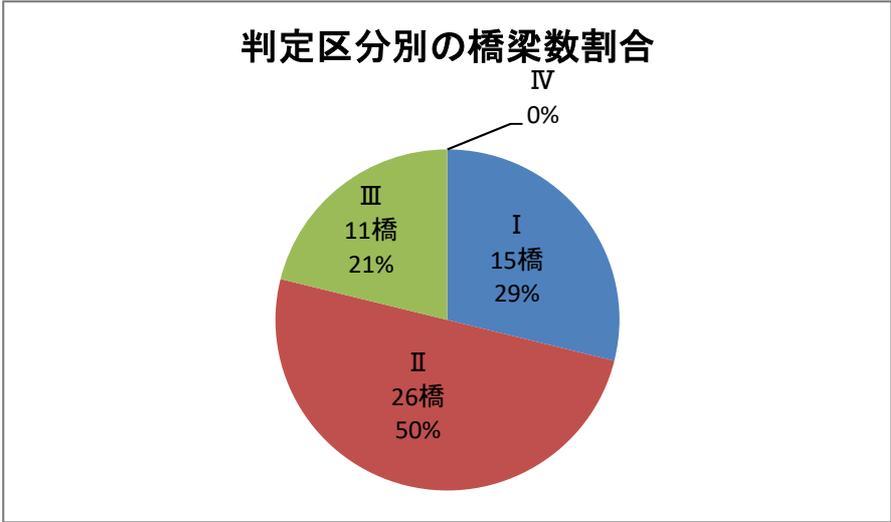
r_1, r_2, r_3 ：部材重み係数， y_1, y_2, y_3 ：各部材の損傷度評価点

表7.7-1 橋梁重要度の評価項目選定表

諸元項目	細別	概要及び適用	項目番号	重み係数
道路状況	緊急避難経路	—	x1	β_1 : 0.4
	道路区分	1級, 2級, その他		
	交差状況	河川, 道路, 鉄道, その他	x2	β_2 : 0.3
	迂回路の有無	有り, 無し	x3	β_3 : 0.1
	交通量	橋梁の使用度として交通量は重要であることから、橋梁重要度評価項目に採用する。しかし現状ではデータ不足により評価が困難であるため、本計画では細別区分を設けず、重み係数 $\beta_5=0.0$ として適用する。(交通量細別例:大, 中, 小など)。将来的に評価可能となった場合は、重み係数を見直すこととする。	x5	β_5 : 0.0
環境条件	周辺環境	塩害環境: 県道75号(西之表南種子線)より海岸線側 一般環境: 上記以外を除く区間	x4	β_4 : 0.2

区 分		状 態
I	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態
II	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態

速やかに補修を行う必要がある区分「Ⅲ」と判定した橋梁については、損傷箇所数や損傷程度を考慮し、優先的に対策を実施する。



(令和2年4月現在)

6. 状況写真



点検状況

主な状況



床版：遊離石灰(コールドジョイント)



床版：鉄筋露出



床版：浮き



横桁：定着部の異常



主桁：鉄筋露出



防護柵：腐食

7. 今後の取組

(1) 新技術等の活用

本町の管理橋梁は、新技術の適用が効果的とされる長大橋や特殊橋等は少ないが、新技術は、コストの縮減や品質確保及び工期短縮等の可能性が高いとされることから、全管理橋梁52橋の点検や補修設計時には新技術の検討を行い、実現性があればその技術を積極的に活用します。補修工法については、従来技術と新材料・新工法(NETIS登録技術)の活用を比較検討のうえ採用し、令和9年度までの5年間で約1百万円程度のコスト縮減を目標とします。

(2) 費用の縮減

令和4年度に2巡目の定期点検による各橋梁の健全度で対策優先順位を評価したうえで、計画的かつ効果的に長寿命化対策を実施します。その際には(1)のとおり、点検技術・補修技術においても新技術を検討し活用するとともに、利用状況等を踏まえ代替可能な橋梁に対しては、集約に伴う廃止等を検討します。また、新材料・新工法の活用を検討しながら、早期に補修を行うことにより、維持管理費を5年間で約1百万円程度のコスト縮減を図ることに取り組みます。

8. 南種子町橋梁長寿命化修繕計画一覧表

令和4年(2022年)10月1日現在

NO	施設名		路線名	種別 (※1)	架設年度 (西暦)	橋長 (m)	全幅員 (m)	管理者名	行政区域		点検計画:○ 修繕計画:● 撤去等:△ 修繕工事:—						最新点検年度	施設毎の 判定区分	対策費用 (千円) (※2)	対策内容	順位			
	橋梁名	フリガナ							都道府県名	市町村名	H27	H28	H29	H30	R01	R02						R03	R04	R05
27	夏田橋	ナツダハン	夏田郡原線	緊急避難経路	1972	46.2	4.7	南種子町	鹿児島県	南種子町	●		○							H29年度	II	76,252	鋼桁:RC-1塗装+鋼板溶接, 床版:エポキシ樹脂注入材3種+ポリマーセメントモルタル+表面含浸工, P1橋脚:エポキシ樹脂注入材3種+ポリマーセメントモルタル+表面含浸工, A1-P2橋脚:A2:表面含浸工, 舗装:コンクリート表面保護工, 支取取替, 伸縮装置, 防護柵取替, 排水取替	1
13	西広田橋	ニシヒロタハン	西之町広田線	緊急避難経路	1981	5	8.6	南種子町	鹿児島県	南種子町		○●	—							H29年度	II	17,940	床版:ひび割れ注入(エポキシ樹脂3種)+断面修復工+表面含浸工+水切り工, 下部:断面修復工+表面含浸工, 頂版:断面修復工(全断面吹付工法)+表面含浸工+水切り工, 側壁:ひび割れ注入(エポキシ樹脂3種)+ひび割れ充填+断面修復工+表面含浸工, 舗装:コンクリート表面保護工, 防護柵取替	2
48	竹崎川橋	タケサキガワハン	竹崎1号線	その他	1980	4.5	9.5	南種子町	鹿児島県	南種子町		○●	—							H29年度	III	40,661	旧BOX部:ひび割れ注入(エポキシ樹脂3種)+ひび割れ充填+断面修復工(全断面吹付工法)+断面修復工(左官工法)+表面含浸工+水切り工, 新BOX部:ひび割れ注入(エポキシ樹脂3種)+断面修復工(左官工法)+表面含浸工+水切り工, 橋面保護工	3
46	御開4号橋	オヒラキ4コウキョウ	御開4号線	その他	1980	2.76	3.95	南種子町	鹿児島県	南種子町		○●	—							H29年度	III	6,794	床版:ひび割れ注入(エポキシ樹脂3種)+断面修復工(全断面吹付工法)+断面修復工(左官工法)+表面含浸工(ケイ酸塩系)+水切り工, 舗装:コンクリート表面保護工	4
14	広田橋	ヒロタハン	西之町広田線	緊急避難経路	1982	14.6	7.7	南種子町	鹿児島県	南種子町		○●	—							H29年度	III	17,930	床版:主桁:断面修復工+表面含浸工(シラン系)+水切り材設置, 下部:断面修復工+表面含浸工(シラン系), 地覆:ひび割れ補修(エポキシ樹脂1種)+断面修復工+表面含浸工(シラン系), 防護柵:塗装塗替工+断面修復工, 伸縮装置取替	5
9	黒甲橋	クロウハン	西之町浜田線	緊急避難経路	1979	10.5	8	南種子町	鹿児島県	南種子町		○●	—							H29年度	III	13,884	床版:主桁:ひび割れ補修(エポキシ樹脂1種)+断面修復工+表面含浸工+水切り材設置, 防護柵:ひび割れ補修(エポキシ樹脂1種)+断面修復工, 地覆:ひび割れ補修(エポキシ樹脂1種)+断面修復工+表面含浸工, 舗装:コンクリート表面保護工, 伸縮装置, 排水取替	6
15	阿武錦橋	アブスキハン	西之町広田線	緊急避難経路	1984	26.1	8.2	南種子町	鹿児島県	南種子町		○	●	—						H29年度	III	40,049	主桁・横桁:地覆:断面修復工(左官工法(遠場モルタル+防錆ペースト)), 表面保護工(シラン系含浸材), 下部:断面修復工(左官工法(遠場モルタル+防錆ペースト)), 表面保護工(シラン系含浸材), 支取:表面保護材, 防護柵:高欄取替工, 舗装:橋面防水工+アスファルト舗装工, 伸縮装置取替工, 排水装置取替工	7
43	大浦橋	オウラハン	長谷大浦線	その他	1982	26.5	6.7	南種子町	鹿児島県	南種子町		○	●	—						H29年度	III	32,104	主桁・横桁:地覆:断面修復工(左官工法(遠場モルタル+防錆ペースト)), 表面保護工(シラン系含浸材), 下部:断面修復工(左官工法(遠場モルタル+防錆ペースト)), 表面保護工(シラン系含浸材), 防護柵:高欄補修工(3種ケレン), 舗装:橋面防水工+アスファルト舗装工, 伸縮装置取替工, 排水装置取替工	8
3	氷川橋	コリカワハン	上中下中線	緊急避難経路	1957	5.25	6.4	南種子町	鹿児島県	南種子町		○	●	—						H29年度	III	10,314	床版:断面修復工(左官工法), 表面保護工(ケイ酸塩系), 下部:ひび割れ注入工(エポキシ樹脂), 断面修復工(左官工法), 表面保護工(ケイ酸塩系), 地覆:ひび割れ注入工(エポキシ樹脂), 断面修復工(左官工法), 表面保護工(ケイ酸塩系), 遮水性舗装工, ガードレール防護柵取替工, 区画線	9
11	屋村橋	オムラハン	西之町広田線	緊急避難経路	1981	5	9.76	南種子町	鹿児島県	南種子町		○	●	—						H29年度	II	3,998	頂版:ひび割れ注入工(エポキシ樹脂), 断面修復工(左官工法), 地覆:断面修復工(左官工法), ガードレール防護柵取替工	10
28	小田橋	オダハン	小田平野線	緊急避難経路	1965	3.7	13.9	南種子町	鹿児島県	南種子町		○	●	—						H29年度	III	8,439	床版:ひび割れ注入工(エポキシ樹脂), 断面修復工(左官工法), 下部:ひび割れ注入工(エポキシ樹脂), 断面修復工(左官工法), 表面保護工(ケイ酸塩系), 地覆:ひび割れ注入工(エポキシ樹脂), 断面修復工(左官工法), ガードレール防護柵取替工	11
32	雨田橋	アマダハン	片板雨田線	その他	1978	19.1	5	南種子町	鹿児島県	南種子町		○	●	—						H29年度	III	25,051	主桁・横桁:地覆:断面修復工(左官工法(遠場モルタル+防錆ペースト)), 表面保護工(シラン系含浸材), 下部:断面修復工(左官工法(遠場モルタル+防錆ペースト)), 表面保護工(シラン系含浸材), 支取:表面保護材, 防護柵:高欄取替工, 舗装:橋面防水工+コンクリート舗装工, 伸縮装置取替工, 排水装置取替工	12
18	寺川橋	テラカワハン	川内下中線	緊急避難経路	1977	10	6.9	南種子町	鹿児島県	南種子町			●	—						H29年度	III	67,501	床版:断面修復工(左官工法), 表面保護工(ケイ酸塩系), 下部:ひび割れ注入工(エポキシ樹脂), 断面修復工(左官工法), 表面保護工(ケイ酸塩系), 地覆:ひび割れ注入工(エポキシ樹脂), 断面修復工(左官工法), 表面保護工(ケイ酸塩系), 遮水性舗装工, ガードレール防護柵取替工, 区画線	13
30	中部橋	ナカヘハン	中部高山線	その他	1993	28.2	6.7	南種子町	鹿児島県	南種子町			●	—						H29年度	II	35,738	主桁・横桁:床版:断面修復工(左官工法), 表面保護工(シラン系ケイ酸塩系), 下部:ひび割れ注入工(エポキシ樹脂), 表面保護工(シラン系ケイ酸塩系), 地覆:断面修復工(左官工法), 表面保護工(シラン系ケイ酸塩系), ひび割れ注入工(エポキシ樹脂), 舗装:橋面防水(塗膜系), 伸縮装置取替, 高欄塗替塗装, 排水装置塗替	14
6	大瀬橋	オオセハン	上中本村線	2級	1975	5.2	5.5	南種子町	鹿児島県	南種子町		○								H29年度	III	11,200	補修設計済	15
2	山神橋	ヤマガミハン	上中下中線	緊急避難経路	1968	7.6	5.2	南種子町	鹿児島県	南種子町		○								H29年度	II	36,000	補修設計済	16
19	寺川第二橋	テラカワダイニハン	川内下中線	緊急避難経路	1977	4.3	6	南種子町	鹿児島県	南種子町		○								H29年度	II	11,900	補修設計済	17
31	高山橋	タカヤマハン	中部高山線	その他	1970	6.9	6.1	南種子町	鹿児島県	南種子町		○								H29年度	II	13,000	補修設計済	18
37	第二田代橋	ダイニタシロハン	焼野田代線	その他	1965	5	4.9	南種子町	鹿児島県	南種子町		○								H29年度	II	7,300	補修設計済	19
39	穂立線1号橋	ホタテセン1コウキョウ	穂立線	その他	1977	4.9	6.35	南種子町	鹿児島県	南種子町		○								H29年度	II	8,513		20
49	御開1号橋	オヒラキ1コウキョウ	御開1号線	その他	1980	4.4	4	南種子町	鹿児島県	南種子町		○								H29年度	II	8,049		21
47	御開5号橋	オヒラキ5コウキョウ	御開5号線	その他	1980	2.8	4	南種子町	鹿児島県	南種子町		○								H29年度	II	9,397		22
35	新有尾橋	シンアリオハン	大宇都隈久保線	緊急避難経路	1976	12.6	7.7	南種子町	鹿児島県	南種子町		○								H29年度	II	12,457		23
42	千両橋	センリョウハン	長谷大浦線	その他	1980	7.6	7.4	南種子町	鹿児島県	南種子町		○								H29年度	II	8,397		24
12	国政橋	クニサハン	西之町広田線	緊急避難経路	1981	3	10.3	南種子町	鹿児島県	南種子町		○								H29年度	II	8,484		25
16	平谷橋	ヒラタニハン	川内下中線	緊急避難経路	1981	6.3	7.6	南種子町	鹿児島県	南種子町		○								H29年度	II	15,355		26
10	山田橋	ヤマダハン	西之町広田線	緊急避難経路	1982	18.6	7.7	南種子町	鹿児島県	南種子町		○								H29年度	II	12,336		27
8	大甲橋	オオカウハン	上中大川線	1級	1983	11.7	8.6	南種子町	鹿児島県	南種子町		○								H29年度	II	8,135		28
17	山口橋	ヤマグチハン	川内下中線	緊急避難経路	1980	5.7	7.2	南種子町	鹿児島県	南種子町		○								H29年度	II	8,136		29
41	鍵取橋	カキトリハン	長谷大浦線	その他	1975	5.5	7.3	南種子町	鹿児島県	南種子町		○								H29年度	II	8,803		30
33	雨田2号橋	アマダ2コウキョウ	片板雨田線	その他	1970	2.9	5	南種子町	鹿児島県	南種子町		○								H29年度	II	8,295		31
45	御開3号橋	オヒラキ3コウキョウ	御開3号橋	その他	1980	2.7	12.5	南種子町	鹿児島県	南種子町		○								H29年度	II	8,344		32
4	小渡瀬橋	コワタセハン	上中本村線	2級	1982	3.8	6.2	南種子町	鹿児島県	南種子町		○								H29年度	II	8,442		33
25	今平橋	イマヒラハン	浜田千座岩線	2級	1986	7.8	7	南種子町	鹿児島県	南種子町		○								H29年度	II	9,095		34
26	郡原橋	コオリハラハン	大曲郡原線	その他	1965	7	7	南種子町	鹿児島県	南種子町		○								H29年度	II	9,653		35
36	第一田代橋	ダイイチタシロハン	焼野田代線	その他	1965	5.2	4.8	南種子町	鹿児島県	南種子町		○								H29年度	II	8,692		36
22	牛野橋	ウシハン	椿山牛野線	その他	1954	7.4	5	南種子町	鹿児島県	南種子町		○								H29年度	II	8,687		37
21	岩川大橋	イワガワオオハン	椿山牛野線	その他	1996	60	7.7	南種子町	鹿児島県	南種子町		○								H29年度	I	822		38
38	栗屋田橋	クリヤタハン	栗屋田8号線	その他	1970	5.1	4.4	南種子町	鹿児島県	南種子町		○								H29年度	I	822		39
1	学園橋	ガクエンハン	上中下中線	緊急避難経路	2002	70	12.8	南種子町	鹿児島県	南種子町		○								H29年度	I	822		40
40	焼野橋	ヤキヤハン	新栄町焼野線	その他	1975	11.5	6.2	南種子町	鹿児島県	南種子町		○								H29年度	I	822		41
29	松原橋	マツハラハン	雨田松原線	その他	1974	11	7.2	南種子町	鹿児島県	南種子町		○								H29年度	I	822		42
20	共栄橋	キョウエイハン	上野共栄線	緊急避難経路	1977	3.9	12.95	南種子町	鹿児島県	南種子町		○								H29年度	I	822		43
44	御開2号橋	オヒラキ2コウキョウ	御開2号線	その他	1980	3.55	4	南種子町	鹿児島県	南種子町		○								H29年度	I	822		44
5	大渡瀬橋	オオワタセハン	上中本村線	2級	2006	13.7	8.7	南種子町	鹿児島県	南種子町		○								H29年度	I	822		45
23	小牧橋	コマキハン	中西焼野線	1級	1988	8.8	11.3	南種子町	鹿児島県	南種子町		○								H29年度	I	822		46
7	神田橋	カンダハン	上中本村線	2級	2011	13.1	8.2	南種子町	鹿児島県	南種子町		○								H29年度	I	822		47
34	梶原橋	カシハラハン	小平山上方線	その他	1992	12	8.5	南種子町	鹿児島県	南種子町		○								H29年度	I	822		48
50	大和田橋	オオワダハン	大和田線	その他	1980	3.7	6.5	南種子町	鹿児島県	南種子町		○								H29年度	I	822		49
24	阿竹橋	アタケハン	阿竹竹崎線	その他	2011	2	3	南種子町	鹿児島県	南種子町		○								H29年度	I	822		50
51	古川橋	フルカワハン	古川宮田線	その他	2013	7.8	6	南種子町	鹿児島県	南種子町		○								H29年度	I	822		51
52	新焼野橋	シンヤキヤハン	新栄町焼野線	その他	2019	10.6	9.75	南種子町	鹿児島県	南種子町			○							R2年度	I	822		52
工事費合計(百万円)											5	18	41	136	80	60	3	34	5					
設計費用合計(百万円)											3		14	20	17		20			24				